

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フォンティス応用科学 (オランダ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	international Business Consultancy。		
報告書提出日	2019年9月23日		
留学予定期間	2019年8月～2020年7月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 15000 (円) /合計

航空券代： 17000 (円) /合計

ビザ申請関連費： () /合計

その他（保険）： 20000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？1086018 (円) /合計

4月下旬にフォンティス応用科学大学から受け入れ許可をもらった。

それから現地の海外保険に登録した。628€払った。

6月の下旬に寮の手続きが始まった。

7月の中旬に17000円程度の航空券をとった

寮の仲介会社との連絡でうまくいかないことがあった。多少不安だったが事無く終えた。

歯医者は留学が決まってから治療に通った。

1.2. 渡航について

成田国際空港から直行便でオランダのスキポール空港へ行った。

現地では先に着いていた神奈川大学の学生に向かいに来てもらった。

移動手段は電車で、19€かかった。

空港から当時の宿泊施設は2時間くらいで着きました。

最寄りの駅から現在の寮まで徒歩で15分くらいです。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

オランダへ出国前にデポジットとその他諸々で15万円ほどクレジットカードで支払いをした。

今後の支払いは一か月おきに600€をクレジットカードで払います。

今住んでいる寮には当初 8/30 には入居できると聞きましたが、建設が終わらずに工事が間に合わず、私は 9/6 の入居まで寮の仲介会社がホテルを手配して、そこに住んでいました。ホテル代は払っていませんが、大学からホテルまでのバス代は自費で片道 4€かかり、思わぬ出費でした。

気づき

玄関のインターホンが鳴らないなど所々で欠陥が見つかった。だが、住みやすくとても居心地がいい。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

滞在許可はフォンティス応用科学大学が提示した日程に大学内のある施設で指紋とパスポートと写真を撮って一通りの手順はしました。今は City hall から認定のメール待ちです。

Visa および外国人登録は私の必要書類に不備があり、まだできていません。その不備の部分直すためにオランダにある日本大使館にお願いしている状況です。

外国人登録の締め切りは年内までなので提出遅れの心配はありません。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

8/27 Barbecue パーティーをフォンティス応用科学大学内の中庭で行った。

8/29 Drinking party で同じ IBC の留学生と交流を持った

9/2 オリエンテーションを行い、最初の週は授業に出て次の週に確定の時間割を提出するようにと、12/5.6 にドイツに Farewell Trip をすることを確認した。そのあとオランダ学生にアイントフォーヘンの町案内してもらい、Drinking Party をした。

9/3 授業開始

9/9 履修登録

9/17 学生カードもらう

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

語学の面では TOEIC850 点目標に日々英語に触れています。

留学の目的は Fontys でのマーケティングとマネジメントの勉強、またオランダの環境に対する知識やそのほかの興味がある団体や施設に足を運び、そこで様々なことを学ぼうと思います。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

TOP KU ENGLISH の参加や通学路での電車内では英語の単語やリスニングに充てた。そのためリスニングは日常会話程度なら聞き取れると思ったが、授業などでのディスカッションの際、まだまだ足りないと感じました。英語での自分の気持ちを伝えられるように一日一日時間を大切に使い、クラスで日本語の時のように意見を言えるようになる。

3.3. 今月の学習・研修目標

早速グループワークが始まり、オランダの学生と一緒にプレゼンテーションを作るという機会があるので、自分の今持っている英語の力で最高のものを作りたい。すべての英語の技能が足りないと感じているので英語と向き合う時間をとことん増やす。例えば、わからない単語に出会ったとき、付箋に書いて家の壁に貼っていつでも見えるようにするなど工夫をする。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Regional Branding(13:15~14:55)
火	Dutch Language and Culture(8:45~10:25) Strategic Management(13:15~14:55)
水	Gobal Marketing(10:35~12:00)
木	HRM(10:45~12:25) Cultural Diversity Management(15:15~16:55)
金	
土	
日	

4.2. 授業について

1,Regional Branding (週 1 100 分/1 コマ)

地域によってブランディングは変わってくる。世界で有名な町はどのようにブランディングしてきたかを学び、また、グループで地域を選び、そこがどのような産業が有名かそしてどのようにブランディングしたらいいかを考え、レポートにまとめて発表をする。

特徴、教授がすごく陽和な人で内容の比較的わかりやすくとることをお勧めする。クラスは 20~30 人ほど。授業内の発言を求められる。

評価方法は、レポートとプレゼンの質、また授業の参加意欲。

2,Dutch Language and Culture (週 1 100 分/1 コマ)

オランダ語の挨拶、自己紹介、数字など基礎を学ぶ授業。また授業内でオランダにきて不思議に思ったことを発言できる時間があるので、参加しやすい授業。

特徴、学生全員オランダ語初心者なので焦らず、臨める。教授は優しく、人当たりがいい人。

評価方法は、最後の授業でのオランダ語で簡単な日常会話が話せるかのテストがある。

3,Strategic Management (週 1 100 分/1 コマ)

グループで一つの会社を選び、その会社を大きくするにはどうすればいいかを授業に沿って考え、最終的にまとめて発表する。

特徴、初めの 50 分くらいは座学で、残りはグループで作ったプレゼンを発表する形式。ほかの生徒はもともとマネジメントの知識があり、すごくレベルが高いように思う。先生も厳しめ。けど、とても濃い授業だと感じる。

評価方法、グループで作ったプレゼンとレポートの内容。

4,Gabal Marketing (週 1 100 分/1 コマ)

企業が世界に展開するにはどういうことが必要になってくるかを学ぶ、そのあとグループワークがある特徴、グループワークが多い授業。企業の国際化に興味あるなら取るべきだと思う。

評価方法、授業の参加姿勢とレポートとプレゼンテーション。

5, HRM (2週間に1回 100分/1コマ)

人材資源を学ぶ。会社は社員がいて動いているので、どのようにコミュニケーションや運営をしたらいいかを勉強する。

特徴、先生がすごく明るくて、授業の雰囲気はよい。だが、45 分間のプレゼンテーションがあるなど厳しい面もある。

評価方法、プレゼンテーション

6. Cultural Diversity Management (週 1 100 分/1 コマ)

違う文化とどのように共生するかをマネジメントと通して考える

特徴、様々な文化を持つ留学生が多いのでみんなの声を聴きながら考える授業。教授はどんな英語を話しても話さないより大事という人で授業内の発言機会が多い

評価方法、詳しいことはまだわからない

4.3. 予習・復習・自習について

1の授業はグループでの発表があるので予習として事前に話し合い準備をする。復習を欠かさない。その日の授業の内容をグループのプレゼンテーションに落とし入れていくため。

2の授業は日常で見つけた不思議な事を写真で収め、それを授業内で発表するので予習としては写真を撮ることを忘れないこと。復習は最後のテストで話せるようにその日習った表現や単語を覚えなおす。スーパーなどで習ったオランダ語を使うなどの自習をしている

3の授業は課題が多い。教科書の予習と復習をしかつ、グループのプレゼンを作る。プレゼンとレポートの量が多い。

4の授業はまだあまり課題が出されていないのでどうなのか具体的にはわからない。ただマネジメントの知識が必要なので自習として学んでいる。

5の授業は45分のプレゼンテーションがあるのでそれを作るのに時間がものすごくかかる。

予習は教科書がないのでできないが、自習としてHRMを学んでいる。その方が、授業についていきやすい。

6の授業は英語で日本の文化をいう機会が多いので英語の学習と日本はどのように海外からみられているかを予習として行っている。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	------------

こっちに来てから睡眠時間が減ったので自分にとって適切な睡眠時間を再度確認したい。

SIMカードの更新で少し手間取ったが、うまく直ったので良かった。

寮に共有洗濯機が一つしかないのが不安である。

アイントフォーヘンは夜中で歩いても怖い思いはしないので比較的安全だと思う。

5.2. 課外活動について

休日は英語の勉強や身の回りで足りないものの買い出しに使っている。

学校のジムに登録したので健康を考えて定期的に通いたいと思う。

10月に休暇週があるので、遠出できたらしたいと今計画している。

5.3. 現在までの感想

留学生の中で思うように友達ができず少し不安に感じることもあるが、焦っても仕方ないと友達に言われ今はいつも通りの方法で友達作りを試みる。

就活のことを考えると時々悩むが、中途半端にならないようにしたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11月)

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フォンティス応用科学 大学 (オランダ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	IBC		
報告書提出日	2019年 11月 18日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

帰国後、TOEIC 850 点以上のスコアを取る。また留学前に作ったやりたい事リストを実行して、オランダに留学したからこそその経験、学びをしていく。例えば、オランダの教育システムや農業システムなど。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

10月はそれぞれの授業が進んで、プレゼンテーションやレポートを行う機会が多かった。神奈川大学ではしなかった 45 分間の英語で発表もあり刺激的で充実した学生生活を過ごしていました。オランダ文化・言語のテストがあり、しっかり合格点が取れたのも良かった。ただ準備したらもっとできていたなど反省があるので、これからの糧にしたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

新たな授業も始まった反面、最終レポートやプレゼンテーションを行う授業も出てきて、日本の大学みたいに一斉に始まって一斉に終わる慣習ではないのに戸惑いはあるが慣れるのが一番大事だと思います。アイントフォーヘンにきて3か月たって周りが見えてきて余裕も生まれたので新たな挑戦をしていこうと考えています。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	Business English 13:15~14:55)追加
火	Strategic Managment(13:15~14:55)取り消し
水	
木	
金	
土	

日	
---	--

2.2. 授業について

Regional Branding

最終レポートの締め切りが近づいてきてブランディングをすると決めた地域のことを調べ挙げ、どうしたら投資家たち魅力的に紹介するかのレポートをグループで話し合い、今最終段階に入っています。

Business English

仕事上のメールや手紙での適切な英語の使い方を学ぶ授業。オランダ来てから先生たちとメール交換が多いのと、今後社会人になっても必要な能力だと思います。

Gobal Marketing

先生から決められた課題合計4つをグループで協力してこなしていく。

HRM

グループごとに決めた HRM のテーマを 45 分のプレゼンテーションをして、それから全グループの発表からいろんな HRM の知識を得る。

Cultural Divercity Management

Hofstede で文化の違いを明確にしめし、課外から仕事を経営している人を招待し、文化の違いで見えるマネジメントの難しさの生の声を聴いたりした。

2.3. 予習・復習・自習について

reaginal branding

予習が多い授業で、グループでミーティングをたくさんして何ページもわたる word のレポートを共同で仕上げることをした。

Business English

復習は前回に出された宿題を、予習は Fontys のホームページでクラスごとにあるファイルから

Business english を選び手紙において参考なフレーズを学ぶ

Gobal Marketing

授業概要でも書きましたが、課題が多い授業なのでマーケティングの勉強をしつつ、プレゼンテーションの準備も同時進行でしています

HRM

このクラスは先生が教える登壇型ではなく、生徒同士が教えあう相乗効果型なので次のクラスで発表する生徒が出した宿題を行いつつ、わからなかったことを自分でも調べる復習も欠かさずしています

Cultural Divercity Managment

発言が求められるクラスなので、予習の段階で次回のクラスで必要になってくる情報を前もって調べ、話せるような工夫をしています。

2.4. 語学力について

留学に来る前、ついた当初は甘く見ていたが、今は俯瞰的にレベルにあった語学に対する目標設定ができたと思う。話すことは一気にうまくなるほど簡単なものではない。語彙の豊富さと話せた経験両方必要で受け身ではうまくならないので取り組みとしては簡単な文法、単語を恐れないで使い、留学終わるまでにはペラペラではなく、気持ち、考えをはっきり伝えられるようになる。

聞く方は、会話と準備で使う英語は別物。日本語も同様。今はありがたいことに Netflix でフレンズなどの会話表現を学べ、すぐに実行できる環境にいる。だからどんどん聞いて慣れていきたいと思います。リスニングは質より量だと思うので日常生活で触れ合う機会をできる限り増やす。書くことと読むことは自然と触れる。だからめんどくさいが、わからない文法、単語また、表現は一個一個記録して自分のレポトリーになるまで反復していく。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
----	------------

やっと自分の家だと実感できるほど落ち着いた生活ができています。ところどころ部屋の中に不備があり仲介会社の Holland 2stay にメールをして直してもらいました。費用は無料です。仲介会社も要望をしっかりと聞いてくれるので住むことに関して困ったことはありません。

食べることは日本食が恋しくなり、アイントフォーヘンにある日本食レストランへ訪れたりした。また栄養に偏重があり、口内炎ができたりしたので今は自炊で栄養バランスを考えて食事することを意識しています。

11 月に入ってヨーロッパの冬の厳しさを感じています。寒さをしのぐ上着が足りないので、今度買いに行こうと思います。オランダへ留学する子には寒さ対策をしっかりしてほしいなと思いました。

3.2. 課外活動について

Netflix で英語の勉強や気晴らしに映画を見たりしています。またジムの設備がいいので運動したいと思ったときすぐに行って汗を流します。台湾の留学生と神奈川大学から一緒に来ている学生と卓球したりバラエティ豊かなスポーツも体験できるので飽きずに通っています。

日帰りで行けるハーグやアムステルダムなども行きました。今度はクリスマス休暇中に遠出しようと計画しています。

3.3. 現在までの感想

留学でこうなりたいな一と思っていた理想と現実の狭間で悩むことはありますが、こっちで出会った先生やオランダ人からの励ましや考え方に元気をもらい今できることに全力に挑み、適度に抜き、一日を大事に過ごそうという考え方で行動しています。

オランダは麻薬が合法で有名な国です。日本のニュースを見てみると麻薬関係の事件が多く、ところ変われば、信じるものも変わるなと身をもって感じます。就職活動をそろそろ始めようと思います。

クラスについて

前回 **strategic managment** を選択したと書きましたが、授業が始まって7週目くらいに IBC のトップの人に、難しいと相談した結果、やめることになりました。また代わりに **Business English** を取りました。

以上

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	国際文化交流学科	2 年次
派遣先大学 (国)	フォンティス応用科学大学 (オランダ)			
所属プログラム・ 学部・研究科	IBC	履修言語	英語	
留学期間	2019 年 8 月～2020 年 3 月			
報告書提出日	2020 年 5 月 6 日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Fall Semester	9 月 2 日 ～12 月 20 日 (16 週)	12 月 9 日 ～ 12 月 20 日	メールで履修登録フォームが送られてくる。最初の一週間はお試し授業期間でその時に気になった授業を受講してみて取るか取らないか決める。決めたら期間内にフォームに取りたい授業を決める。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Fall Semester	Reagion Branding	23.38 時間	講義は月曜日の 10:45 から 100 分。講義の内容はブランディングについて学びながら、実践のためにグループで1つの世界のどこかの地域を選びそこをブランディングする。投資家がいると仮定して彼らに魅力的な投資先として紹介できるプレゼンテーションとレポートを作るのが試験の課題であった。
		1.67 (時間/ 回) × 1 (回/週) × 14 (週)	
Fall Semester	Gobal Markting	23.38 時間	講義は水曜日 10 : 4 5 からの 100 分。講義の内容は各週出されるケーススタディをグループでまとめた答えを授業中にプレゼンテーションをする。そこでフィードバックをもらいより良いものにする。試験では、先生とのグループ面談をしてどうしてこの分析方法を使ったなどグループのマーケティングについて聞かれるのでそれを答える。
		1.67 (時間/ 回) × 1 (回/週) × 14 (週)	

Fall Semester	HRM	23.38 時間	講義は木曜日の10:45からの100分。講義では各グループに HRM に関するプレゼンテーションを45分ずつする。その後ケーススタディをして、2030年の HRM のレポートをまとめて書く。試験はプレゼンテーションとレポートの総合評価。
		1.67(時間/回) × 1 (回/週) × 14 (週)	
Fall Semester	Cultural Diversity Management	23.38 時間	講義は木曜日の15:15から100分。講義の内容はグローバル化が進むことによって生じる多様な意見衝突などのマネジメントの方法を学ぶ。試験は各授業での参加意欲と最終授業でのプレゼンテーション。
		1.67(時間/回) × 1(回/週) × 14 (週)	
Fall Semester	Dutch Language	11.69 時間	講義は火曜日の8:45からの100分。講義の内容は日常会話のオランダ語を学ぶ。各授業では中学校で英語授業のような基礎を学んでいく。試験では2人1組になって会話のテストがある。
		1.67(時間/回) × 1 (回/週) × 7 (週)	
Fall Semester	Writing English	11.69 時間	講義は火曜日の8:45からの100分。講義の内容はビジネスでの適切なメールと手紙の書き方を学ぶ。試験では授業中に学んだことの復習テストがある。
		1.67(時間/回) × 1(回/週) × 7 (週)	

1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

心がけていたことは“終わり”を意識することでした。終わりを想像することで今、すべきことが明確になります。

予習では、授業を受ける前にイメージトレーニングを行いどのような質問が聞かれるかなど予想して準備することをしました。

1.4. 語学力について

留学前と留学当初に比べての成果は話すことへのためらいの壁が取り除きやすくなったことです。思いがうまく伝えられない経験にはじめは困惑しましたが、どんどん話せるようになればいいと思うマインドセットにしたら語学力のモチベーションが高まりました。

取り組みに関しては、習慣化をすることを一番大切にしました。日本にいるときに比べて日常会話での英語が多くなる分、少し英語学習を怠ける時がありました。その反省を生かして英語学習を習慣化して、学んだ知識をなるべくすぐアウトプットしました。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

留学先では神奈川大学で所属している国際文化交流学科とは学問的には全く違うビジネス学問を学びました。ほかの学生にはビジネスを専攻している人もいて、明らかに私は知識量や経験量は少なかったのですが、神奈川大学で学んだことをうまく結合することによって自分らしい発想や意見が言えました。既に知っている知識に柔軟性を持たせればその分野での知識は劣っても自分だけの視点や思考でやっていくことが出来ました。またその逆もしかりで、新しい知識の刺激によって今まで一方的な見方が多角的に見方変わってきました。その成功体験はこの留学の学修成果だと思います。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学修面での反省では、驕りが出てしまったことです。現地の学生は優しく手伝ってくれるなど学修の環境は素晴らしかったです。しかし、自分が留学生だから、また初めて学ぶ学問でできなくて当たり前などと自分を甘やかしてしまう驕りが出てしまうときはありました。時には、ストレスを感じすぎないためにリラックスすることは必要でしたが、オンオフの切り替えは心身共に大切だとすごく身に染みて感じたことです。

2.3. 留学生活で得られたもの

留学してある言葉の意味について身をもって感じました。それは“百聞は一見に如かず”です。Youtubeやテレビなどで海外に住むことについて多くを知ることが出来ますが、自分でその地域に住んで、様々なカルチャーショックを経験して、コミュニケーションをとることは自分でしかできないことです。この言葉の神髄を理解したことによってより興味を持つものに対して実行する努力と行動力の尊さを得ることが出来ました。

2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

食事の栄養バランスは大事です。もともと実家暮らしで料理をしなかったせいかもしれませんが、私は留学当初は栄養バランスに偏りがありました。ちゃんと学校に通える健康状態でないと本末転倒なので栄養をしっかりとって睡眠もおろそかにしないことは大事だと思います。時差の関係で日本にいる友達と連絡すると昼夜逆転になったりするので、そこも私は生活リズムを一定にすることを気を付けました。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

記入日	2020年5月6日	
派遣先国	オランダ	
派遣先大学	フオンティス応用科学大学	
留学先での所属学部	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等 学部名：(IBC) <input type="checkbox"/> 語学研修 <input type="checkbox"/> その他 ()	
本学での所属	外国語学部	国際文化交流学科・専攻
学年	3年次 (留学開始時の学年)	
	3年次 (留学終了時の学年)	
留学期間	留学開始年月 2019年8月 ~ 留学終了年月 2020年3月	
	留学期間 8ヶ月間	

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋 (同居人数)
3	住居形態の詳細を教えてください。	(1DK ロフト付き 共有洗濯機)
4	入居時手続き	(入居前にデポジットなど支払う 現地でカギをもらう)
5	費用 (月額)	(約 72000)円
6	食費 (月額)	<input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 () 円
7	支払方法	(現金と)
8	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input type="checkbox"/> 洗濯機 <input type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
9	住居選択方法	<input type="checkbox"/> 大学に申込 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
10	周囲環境	(近所に大手スーパーチェーンのお店がある バス停も近い)
11	アクセス	(大学までは歩いて 30 分程度)
12	留学中の住居に関して アドバイス	(半期契約か年契約かしっかり確認するのがいい)
13	引越された方は引越し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input checked="" type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
14	詳細を教えてください	(1DK 共有洗濯機)

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(スキポール空港でSIMを購入 任せればやってくれる 値段も高くない)
4	自宅のインターネット	有線 (大学または寮へのLAN接続)

	接続環境	
5	大学内インターネット 接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	610€ /月
2	食費	200€ /月
3	交通費	100€ /月
4	通信費	40€ /月
5	娯楽費	100€ /月
6	図書費	0€ /月
7	学用品（教科書など）	0€ /月
8	被服費	50€ /月
9	医療費	0€ /月
10	雑費・その他	0€ /月
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	600€ /月
12	ビザ申請関連費	100€ /月
13	航空券代（休暇時旅行費用は除く）	150000 円/月
14	その他	円/月
15	留学全日程に要した総額（概算）	1500000 円/合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：100000 円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカードからのキャッシング <input type="checkbox"/> その他（ ）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	口座開設手続き方法・利点・欠点	自転車等レンタルをしたい場合は口座開設した方がいい
19	お金に関するアドバイス （今後留学をする学生に対して）	旅行などする時、安いホテルはその分危険地域などにある可能性があるために節約していいところ/よくないところの見極めをしっかりとってもらいたい

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	B19（10か月分で123050円）
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などはありますか？理由は何ですか？	頭痛薬 カロナール

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 衣服 文房具 単語帳 洗顔 コンタクト
2	現地で購入したもの 衣服
3	（自分は持っていかなかったが）日本から持っていったら便利だと思ったもの 3年生ならSPIの参考書

VI. 留学先で困ったこと

日本での当たり前が通じないとき

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

海外に住むことで理不尽なことを経験するかもしれませんが、それを文化の違いの一部として見れるような寛容さがあれば大丈夫です。やっていけます。

